

DST の応用領域

DST は二つのはたらきがあります。

- ① つなぐ 個人の主体性を形成し、コミュニティー（関係性）を強化します。
- ② 創造する 課題解決へ向けた参加と協働を促がし、新しい社会を生み出します。

DST を「他の手法」と組み合わせることで、様々な活動を支援することができます。

●学校教育

- ・ 総合学習（体験学習 振り返り まとめ発表 情報発信）
- ・ メディアリテラシー 映像教育 国語リテラシー
- ・ ICT を活用した授業（インターネット、電子黒板、PC タブレットの活用）
- ・ 外国語教育 日本語教育
- ・ キャリア教育 進路指導
- ・ コミュニケーション教育 表現教育

●地域・社会活動

- ・ コミュニティー形成（関係性づくり ソーシャルキャピタル醸成）
- ・ 災害に強いまちづくり
- ・ 社会開発（地元学や PLA などと連携）
- ・ 社会的弱者の支援
- ・ 異文化理解 国際教育 外国人コミュニティー支援
- ・ 文化の伝承（オーラルヒストリー・聞き書き 生活文化の記録 世代間の対話）
- ・ 若者（ニート・引きこもり）やリタイア世代、高齢者の社会参加
- ・ ICT の利活用（市民向けのデジタルリテラシー 参加型のコミュニティー・メディア）

●行政

- ・ 参加と協働による問題解決（新しい公共）
- ・ 住民参加型まちづくり
- ・ 新しい社会調査手法（市民参加型調査）
- ・ 新しい住民向けサービスの開発（医療・福祉、生活支援、文化・社会教育など）
- ・ 自治体職員の研修（協働、創造の学習）
- ・ 「新しい公共」を担う人材の育成
- ・ 文化機関（ミュージアム、図書館の文化活動）
- ・ ICT の利活用による地域再生

●NPO

- ・ 活動理念の浸透
- ・ ステークホルダーとの対話の促進
- ・ 活動記録と報告
- ・ ファンドレイジング
- ・ アドボカシー（政策提言）の策定
- ・ 教育・啓発活動
- ・ 中間支援団体による NPO への研修

●企業

- ・ キャリア・デザイン キャリア・カウンセリング
- ・ チームビルディング 組織開発
- ・ ビジョン形成と浸透
- ・ CSR（マルチステークホルダーの対話 活動計画の立案 活動記録と報告）
- ・ マーケティングの新しい調査手法 商品・サービス開発
- ・ ソーシャル・ビジネスやコミュニティー・ビジネスの事業計画